

膝関節の運動療法の基本と ピットフォール (触診を極める・膝タイプで治す)

概要

今回の運動器セミナーは、「スポーツ外傷・障害に対する術後のリハビリテーション」の著者でもあり、膝関節の術後の理学療法では日本でもトップクラスの今屋健先生に実技の指導と講義をしていただきます。

膝関節の触診の実技では、3D-CTの画像からの情報等を使用しながら学習を進めます。体表上での理解だけではなく、膝関節を構成する軟部組織・靭帯・筋・骨を階層で捉えて的確な治療へと発展していく技術を修得します。

私たちが臨床で多く経験する膝疾患としては、膝OAや半月板損傷、ACL損傷、MCL損傷などの外傷や、TKAやHTO、ACL再建術後などがあります。本セミナーでは疾患ごとの治療法ではなく、膝タイプに基づく理学療法を学習します。膝タイプは、ジョイントプレイ（関節の遊び・副運動）と伸展可動域（過伸展の有無）の2つの要素により見極めることができます。教科書的には、過伸展する膝はジョイントプレイが大きく緩い関節という認識があります。しかし臨床の場面では、過伸展するがジョイントプレイが小さい症例に多く遭遇します。すなわち、過伸展を有する膝ではジョイントプレイが大きいものもあれば小さいものもあるということです。膝タイプにより治療の方向性は全く異なり、見極めを誤ると良い治療結果は得られません。今屋先生からはジョイントプレイの見極め、伸展可動域の見極め、それらを組み合わせた膝タイプの見極めと運動療法を講義していただきます。今までにない、膝関節のセミナーです。

【講師】 今屋 健先生 （関東労災病院リハビリテーション科）

【日時】 2017年5月13日（土）14：00～18：00（13：30受付）

5月14日（日）10：00～16：00（9：30受付）

【受講料】 10000円

【申し込み方法】 HPにて受付

【HP】 <http://jissen-riha.com>

【問い合わせ】 jissen-riha2@ab.auone-net.jp

【会場】 グリーンホスピタルサプライ（株）4階大会場
（〒565-0853 大阪府吹田市春日3-20-8）

【交通のご案内】 北大阪急行電鉄「桃山台駅」下車
南改札口より南へ徒歩7分

